

令和８年度 第１回旭川市博物館協議会議事録

|                 |                                                |
|-----------------|------------------------------------------------|
| 日 時             | 令和８年８月２８日（金） 午後６時から午後７時２０分まで                   |
| 場 所             | 旭川市博物館 郷土学習室                                   |
| 出 席 委 員         | 坂東委員、古川委員、九軒委員、奥寺委員、川村委員、坪坂委員、黒坂委員、嵯峨委員（以上 ８名） |
| 会議の公開・<br>非公開の別 | 公開                                             |
| 傍聴者の数           | なし                                             |

（次 第）

- １ 開会
- ２ 委嘱状交付
- ３ 社会教育部長あいさつ
- ４ 会長・副会長選出
- ５ 会長あいさつ
- ６ 議事
  - （１）令和７年度事業実績について
  - （２）令和８年度事業計画について
  - （３）その他
- ７ 閉会

議事内容（要約）

（１） 令和７年度事業実績について

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事 務 局 | 資料に基づき説明。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 会 長   | 意見や質問はあるか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 委 員   | 大学生・高校生・中学生など若い世代の利用が少ないため、PR や学習プログラムの工夫が必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 事 務 局 | 大学生・専門学校生の来館者、とくに団体での利用が少ないことを博物館側も課題として認識している。若い世代が興味を持てる展示や内容を検討し、リニューアルも活用しながら PR を強化していく方針である。                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 委 員   | 11月3日の「アイヌ文化に親しむ日」は参加者が増えており、リピーターや子ども連れで再訪する人も多い。今後も継続して開催し、アイヌの人々も含め、すべての市民が同じ旭川市民であるという理解を広める重要な事業として発展させてほしい（意見）。                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 事 務 局 | 「アイヌ文化ふれあい祭り」や「文化に親しむ日」は参加者も多く、非常に好評である。アイヌの方による伝統文化の披露や、工作・ものづくりなどの体験型プログラムは、特に子どもたちの関心が高く、作ったものを持ち帰れることも人気の理由となっている。また、アイヌ文化について学ぶ機会は日常的には少ないため、参加者からも高い評価を得ている。博物館の学習プログラムでは、市内の小・中学校を対象に市がバスを借り上げ、博物館やアイヌ記念館などを訪問して、体験的な学習を行っており、こちらも好評を得ている。                                                                                                                                   |
| 会 長   | 中学生・高校生の入館が少ない現状について、アイヌ学習プログラムは、小学生向けのプログラムなのか。また、中学生・高校生の入館が少ない要因をどのように押さえているのか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 事 務 局 | アイヌ学習プログラムについては、特に小学校を優先しているわけではなく、参加を希望する学校に参加していただいているが、実際には手を挙げてくれる学校自体が少ないのが現状である。それに伴って、中学校や高校になると、団体で博物館に来ていただく機会も少なくなっている。小学校の場合は、授業の一環として、先生方がこういったプログラムを活用してくれているというところが大きいのではという感触を持っている。一方で、中学生や高校生くらいの年代になると、どうしても社会教育施設から少し離れてしまう時期であり、今後どうやってこの年代の子どもたちに興味を持ってもらうか、ということは考えていく必要があると認識している。例えば、クリスタルホールの建物を活用して、そこで何か体験できるものと博物館を組み合わせるとか、そういった取り組みも今後検討していければと思っている。 |
| 委 員   | 事業の資料を見ているが、その中で、有料なのか無料なのか、参加人数に上限があるのかないのか、といったところを、イベントごとに少し整理して分けしていただくと分かりやすいのかなと思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 事 務 局 | 基本的に材料を使って行うような事業については、材料費などを有料でいただいているものもある。ただ、参加費をいただいている場合でも、数十円から数百円程度のものが多く、それほど高額なものはない。                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 委 員   | 子どもでも大人でも、有料の事業については参加費をいただいているとい                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | うことなのか。その点は、他の博物館と比べても、けっこう特徴が出るところで重要だと思う。というのも、博物館によっては、子どもは無料で、大人から料金をいただくというところも結構あるので。                                                                                                                                                                                                                       |
| 事務局 | 参加対象は、子ども向けや大人と子どもを対象にしたものなど、事業によって違いがあるが、現時点では、大人と子どもで参加費に差をつけるといった区分は設けていない。<br>学校などの団体で受け入れる体験学習については、材料費がかかるものは有料としている場合があるが、一方で、旭川市内の学校については、基本的に無料で参加できるようにしているものもある。例えば、コースター作りなど、材料費が発生する体験についても、市内の学校には無料で実施しているという形で区分けしている。                                                                            |
| 委員  | 市内には特別養護などの施設が 20 か所くらいあって、そのほかにも民間の高齢者施設が 300 か所ほどあると聞いている。過去に、そういった施設にもできるだけ出向いていけないかということで、いろいろ検討したが、そのときに博物館は利用する側からすると、ちょっと敷居が高いところがあると感じた。例えば、車椅子を使っている方が来館する場合、どのルートを通ればいいのかとか、障害のある方が安心して利用できるのかとか、そういったことをいろいろ考えた。今後、障害のある方、高齢者の施設などに対して、博物館としてどのような配慮をしていくのか、また、そういった方々にも利用していただくために、どのような取り組みを考えているのか。 |
| 事務局 | 博物館は 1 階と地下の 2 層構造になっているが、エレベーターがあるので、車椅子の方も 1 階と地下を行き来できるようになっている。また、段差があるところもスロープになっていて、車椅子でも館内を回れるようになっているなど、ある程度はバリアフリー対応していると考えている。ただ、例えば車椅子に座った高さから展示を見るとどう見えるのかなど、まだ工夫できるところはあっている。今後、展示の改修などを進めていく中で、そういったバリアフリーの視点も取り入れながら、より利用しやすい博物館にしていきたいと考えている。                                                     |
| 会長  | ほかに質問が無いようなので、令和 8 年度事業計画を事務局から説明を。                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## (2) 令和 8 年度事業計画について

|     |                                                                                                                                                                |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | 資料に基づき説明                                                                                                                                                       |
| 会長  | 意見や質問はあるか。                                                                                                                                                     |
| 副会長 | 今年度のこの事業で昨年度から大きく変わったものとか何か新しく変わったものはあるか。                                                                                                                      |
| 事務局 | 令和 8 年度については、令和 7 年度から大きく変わるような事業は、特にないが、企画展については内容を新しいものに変えて実施する予定である。また、広報活動については、昨年度から SNS、インターネットなどを活用した PR を強化しており、特に若い世代にも興味を持ってもらえるような広報を進めていきたいと考えている。 |
| 会長  | 来年、クリスタルホールで大規模な会議が開かれ、その影響で、クリスタルホールが 2～3 週間ほど利用できない時期があると聞いている。以前、全国の音楽研究大会があったときに、参加された先生方に「発表が終わっ                                                          |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>たら、ぜひ博物館にも寄ってください」とPRしたところ、実際に多くの方が博物館を訪れてくれて、「素晴らしかった」という声もたくさんいただいた。今回も、多くの方が来られるので、博物館に足を運んでもらえるような流れをつくれれば、大きなPRのチャンスになるのではないかと思います。そこで、海外の方に向けた案内や展示の説明など、英語で対応できるような取り組みが、今どのくらい進んでいるのかお聞きしたい。</p>                                                                                                                                                                                     |
| 事務局 | <p>インバウンド対応については、まだ十分とは言えない部分があると考えている。現状では、すべての展示ではないが、一部の展示に二次元コードを設置していて、スマートフォンで読み込むと、英語・韓国語・中国語などで展示の解説を見ることができるようになっている。ただ、音声による案内や、外国の方にも分かりやすいキャプションなど、まだ検討しなければならない部分もある。今後のリニューアルを検討する中で、こうした点も含めて、インバウンド対応をさらに充実させていきたいと考えている。</p>                                                                                                                                                   |
| 委員  | <p>意見でないが、アイヌ文化関連事業の中にある博物館の連続講座やアイヌ語講座に、私も実際に参加させてもらった。同じ旭川市民として、アイヌの方々が自分たちの独自の言語や文化を持っているということを知ることが、まず大切なんじゃないかなと思っている。私も最初は「イランカラプテ」くらいしか知らなかったが、講座に参加してみて、アイヌ語にもきちんとした仕組みや豊かな世界があることが分かった。英語を学んできたのと同じように、アイヌの方々にも大切な言語があるんだということを、少しずつ市民の皆さんに知ってもらうことが大事だと思う。必ずしも皆さんがアイヌ語を話せるようになる必要はなく、「旭川には、こういう言語を持っている人たちがいるんだ」と知ってもらうこと自体に意味があると思う。そういう地道な活動こそ博物館の役割だと思うので、これからもぜひ続けていってほしいと思う。</p> |
| 委員  | <p>私もインスタグラムを見ていて、フォローしている人が100人位いるが、若い世代への発信は、もう少し力を入れてもいいのかなと思っている。私の周りでも、旭川市博物館に行ったことがあるという人がほとんどいない。子どもたちに来てもらうことももちろん大事であるが、先ほど話に出た大学生や、20代、30代くらいの世代にも、もう少し来てもらえるような工夫が必要なのかなと思う。例えば、若い人たちがよく利用する施設に博物館のポスターを置いてもらうとか、いろいろな場所で目にする機会を増やすことで、少しでも「博物館に行ってみようかな」と思ってもらえるのではないかなと思う。</p>                                                                                                     |
| 事務局 | <p>博物館としても、若い世代への発信は重要なポイントととらえており、貴重な御意見として参考にさせていただく。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 会長  | <p>ほかに無ければ、議事3について事務局から説明を。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事務局 | <p>リニューアルについて別紙資料に基づき説明。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 会長  | <p>現段階で何か質問はあるか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 委員  | <p>駐車場からの距離がちょっと長いような気がするが、今までそういうことで議論とか議題になったことはあるか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 事務局 | <p>博物館には広い駐車場があるが、そこから実際に博物館までどう行けばいいのか、経路が少し分かりにくいところがある。距離があること自体は仕方ない部分もあるが、できるだけ最短で来てもらうにはどうしたらいいの</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|       |                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | かとか、案内の導線やサインについては、改善の余地があると思っている。予算の都合もあるが、博物館までの行き方や案内の分かりやすさについても、今後できる限り改善していきたいと考えている。                                                                                                                          |
| 委 員   | 特に冬の時期になると、高齢の方や体の不自由な方、小さなお子さんの方が、博物館まで足を運ぶのがさらに難しくなって、来館が遠のいてしまっていて、そういった冬の利用しにくさについても、これからどうしていくのか、ぜひ検討する議題に入れていただければ、身近な博物館を目指していけるのではないかな。                                                                      |
| 事 務 局 | 現在も、身障者や高齢者の方が利用できる駐車スペースを、一般の広い駐車場とは別に一部用意している。ただ、それでも博物館まで距離があったり、足が不自由でなかなか来られない方もいると思う。物理的な制約もあるが、どうすれば障がいのある方や足の不自由な方にも、よりスムーズに来館していただけるか、特に冬期間についてどうしていくかは、クリスタルホール全体にも関わることなので、今後も何ができるのかを継続して検討していきたいと思っている。 |
| 会 長   | 何か他にあるか。                                                                                                                                                                                                             |
| 会 長   | 無いようなので、これで議事を終了する。                                                                                                                                                                                                  |